

# 四半期報告書

(第80期第2四半期)

東京都千代田区九段南二丁目3番1号

**株式会社GSIクレオス**

---

# 四 半 期 報 告 書

---

- 1 本書は四半期報告書を金融商品取引法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書及び上記の四半期報告書と同時に提出した確認書を末尾に綴じ込んでおります。

# 目 次

	頁
【表紙】 .....	1
第一部 【企業情報】 .....	2
第1 【企業の概況】 .....	2
1 【主要な経営指標等の推移】 .....	2
2 【事業の内容】 .....	3
3 【関係会社の状況】 .....	3
4 【従業員の状況】 .....	3
第2 【事業の状況】 .....	4
1 【生産、受注及び販売の状況】 .....	4
2 【事業等のリスク】 .....	4
3 【経営上の重要な契約等】 .....	4
4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】 .....	5
第3 【設備の状況】 .....	7
第4 【提出会社の状況】 .....	8
1 【株式等の状況】 .....	8
2 【株価の推移】 .....	10
3 【役員の状況】 .....	10
第5 【経理の状況】 .....	11
1 【四半期連結財務諸表】 .....	12
2 【その他】 .....	29
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】 .....	30

四半期レビュー報告書

確認書

## 【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成21年11月13日

【四半期会計期間】 第80期第2四半期(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

【会社名】 株式会社G S Iクレオス

【英訳名】 GSI Creos Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 深瀬佳洋

【本店の所在の場所】 東京都千代田区九段南二丁目3番1号

【電話番号】 東京(5211)1828

【事務連絡者氏名】 執行役員経営管理部長 沖田陽二

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区九段南二丁目3番1号

【電話番号】 東京(5211)1828

【事務連絡者氏名】 執行役員経営管理部長 沖田陽二

【縦覧に供する場所】 株式会社G S Iクレオス大阪支店  
(大阪市中央区大手前一丁目7番31号(OMMビル))  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)  
株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第79期 第2四半期 連結累計期間	第80期 第2四半期 連結累計期間	第79期 第2四半期 連結会計期間	第80期 第2四半期 連結会計期間	第79期
会計期間	自 平成20年 4月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 4月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 7月1日 至 平成20年 9月30日	自 平成21年 7月1日 至 平成21年 9月30日	自 平成20年 4月1日 至 平成21年 3月31日
売上高 (百万円)	55,635	55,564	29,766	30,556	107,719
経常利益 (百万円)	1,177	707	733	368	1,265
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失(△) (百万円)	248	483	△20	291	415
純資産額 (百万円)	—	—	10,197	10,296	9,287
総資産額 (百万円)	—	—	59,110	60,556	53,951
1株当たり純資産額 (円)	—	—	153.56	158.60	142.79
1株当たり四半期 (当期)純利益又は 四半期純損失(△) (円)	3.86	7.50	△0.32	4.52	6.46
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	—	—	16.73	16.86	17.04
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△15	1,533	—	—	573
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△436	△99	—	—	△612
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	△21	△787	—	—	△291
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	—	—	8,320	9,073	8,389
従業員数 (人)	—	—	493	505	488

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には消費税等は含まれておりません。

3 第79期第2四半期連結累計期間、第80期第2四半期連結累計期間、第80期第2四半期連結会計期間及び第79期の「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4 第79期第2四半期連結会計期間の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、1株当たり四半期純損失が計上されており、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社における状況

平成21年9月30日現在

従業員数(人)	505 [132]
---------	-----------

- (注) 1 従業員数は、当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む就業人員であります。
- 2 臨時従業員数は [ ] 内に当第2四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

### (2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(人)	265 [107]
---------	-----------

- (注) 1 従業員数は、当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人員であります。
- 2 臨時従業員数は [ ] 内に当第2四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。
- なお、出向者、海外現地社員及び嘱託は115人であり、上記には含んでおりません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【生産、受注及び販売の状況】

#### (1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	生産高（百万円）	前年同四半期比（%）
繊維関連事業	725	△23.7
非繊維関連事業	345	26.3
合計	1,071	△12.5

- (注) 1 金額は、製造原価(販売価格)によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 受注状況

当第2四半期連結会計期間における受注状況を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比 (%)
繊維関連事業	27,104	14.2	8,269	8.6
非繊維関連事業	4,935	△30.8	1,306	△28.6
合計	32,039	3.8	9,575	1.4

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

#### (3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	販売高（百万円）	前年同四半期比（%）
繊維関連事業	25,667	12.1
非繊維関連事業	4,889	△28.9
合計	30,556	2.7

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2 前第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、当該割合が100分の10を超える相手先が存在しないため、記載を省略しております。  
3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### 2 【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況の異常な変動等または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

#### 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

##### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日～平成21年9月30日）におけるわが国経済は、政府の景気対策などのより一部の業種に回復の兆しがみられたものの、設備投資や個人消費が低迷するなど依然厳しい状況が続きました。

このような状況下、当社グループは、収益性の向上と海外売上高の拡大方針のもと、目標利益の確保ならびに経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結会計期間の連結業績は、世界的な景気低迷の影響を受けましたが、アジア向け取引が拡大しましたので、売上高は前年同四半期比790百万円、2.7%増収の30,556百万円となりました。

売上総利益は、前年同四半期比141百万円、3.9%減益の3,510百万円となりました。営業利益は前年同四半期比13百万円、2.2%増益の594百万円、経常利益は前年同四半期比365百万円、49.8%減益の368百万円、四半期純利益は前年同四半期比311百万円増益の291百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

##### ①繊維関連事業

機能性の高いインナー用原糸および生地が取引が大きく伸長するとともに、消費者ニーズを踏まえた企画提案型の婦人ファンデーションも堅調に推移しました。

婦人アパレルおよびアウトターOEM取引は、店頭不振の影響を受け苦戦を強いられました。また、欧州および韓国向けアウトター用生地の出輸出取引も市況の悪化と円高により低調に推移しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同四半期比2,778百万円、12.1%増収の25,667百万円、営業利益は前年同四半期比18百万円、3.0%増益の622百万円となりました。

##### ②非繊維関連事業

半導体不況により、米国における化学製品の取扱いが大きく減少するとともに、生産調整や設備投資の低迷が続いたことから、樹脂などの工業用材料および機械装置の取引が低調に推移しました。

プラモデル用塗料の取扱いが堅調に推移したものの、生活関連雑貨の取扱いは消費不振が続いたため減少しました。

以上の結果、当事業全体の売上高は前年同四半期比1,988百万円、28.9%減収の4,889百万円、営業利益は前年同四半期比4百万円、3.2%増益の152百万円となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりであります。

##### ①日本

企画提案型の婦人ファンデーションの取引は伸長しました。しかし、生産調整や設備投資の低迷から、工業用材料や機械装置の取引が低調に推移した以外にも、非繊維は総じて低調に終わり、売上高は前年同四半期比2,974百万円、12.2%減収の21,361百万円、営業利益は前年同四半期比26百万円、5.4%減益の460百万円となりました。

##### ②アジア

香港現地法人におけるインナー用原材料の販売が大きく伸長したことから、売上高は前年同四半期比4,488百万円、111.0%増収の8,530百万円、営業利益は前年同四半期比127百万円、323.7%増益の166百万円となりました。

##### ③北米

半導体市況の悪化により、化学製品の取扱いが大きく減少したため、売上高は前年同四半期比723百万円、52.1%減収の664百万円、営業損失は前年同四半期比64百万円減益の15百万円となりました。



(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金、売上債権の増加などにより、前期末比6,605百万円増加の60,556百万円となりました。

負債は、仕入債務の増加などにより、前期末比5,595百万円増加の50,259百万円となりました。

また、純資産は、10,296百万円と前期末に比べ1,009百万円増加しました。その結果、自己資本比率は16.9%となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、321百万円の資金収入(前年同四半期連結会計期間は657百万円の資金支出)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、22百万円の資金支出(前年同四半期連結会計期間は348百万円の資金支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、3百万円の資金支出(前年同四半期連結会計期間は525百万円の資金収入)となりました。これは主に、リース料の支払いによるものです。

当第2四半期連結会計期間の連結キャッシュ・フローは、以上の結果に現金及び現金同等物に係る換算差額を加えた結果、第1四半期連結会計期間末に比べ281百万円増加して、9,073百万円となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間における研究開発活動について、特記すべき事項はありません。

### 第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、第1四半期会計年度末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### ① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

##### ② 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成21年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	64,649,715	64,649,715	東京証券取引所 (市場第一部) 大阪証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 1,000株であります。
計	64,649,715	64,649,715	—	—

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成21年7月1日～ 平成21年9月30日	—	64,649	—	7,186	—	913

## (5) 【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
グンゼ株式会社	京都府綾部市青野膳所壱番地	9,321	14.42
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区内幸町一丁目1番5号	3,182	4.92
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	3,172	4.91
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	2,586	4.00
東レ株式会社	東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号	1,982	3.07
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	1,302	2.01
日本証券金融株式会社	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番10号	1,187	1.84
日本興亜損害保険株式会社	東京都千代田区霞が関三丁目7番3号	1,119	1.73
G S Iクレオス取引先持株会	東京都大田区西蒲田5丁目23番15号 株式会社三松内	585	0.90
ジェーピーモルガンチェースバンク 385107(常任代理人 株式会社みず ほコーポレート銀行)	東京都中央区日本橋兜町6番7号	526	0.81
計	—	24,965	38.62

(注) 所有株式数の千株未満は切り捨てて表示しております。

## (6) 【議決権の状況】

## ① 【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 273,000	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 63,756,000	63,756	—
単元未満株式	普通株式 620,715	—	—
発行済株式総数	64,649,715	—	—
総株主の議決権	—	63,756	—

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が2,000株(議決権2個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式140株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社G S I クレオス	東京都千代田区九段南 二丁目3番1号	273,000	—	273,000	0.42
計	—	273,000	—	273,000	0.42

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	111	112	132	132	122	115
最低(円)	86	97	104	92	103	93

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までにおいて、役員の変動はありません。

## 第5 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人 保森会計事務所により四半期レビューを受けております。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,073	8,389
受取手形及び売掛金	※2 30,229	※2 24,359
商品	8,894	8,930
未着商品	27	30
その他	1,185	1,474
貸倒引当金	△469	△475
流動資産合計	48,941	42,710
固定資産		
有形固定資産	※3 5,660	※3 5,686
無形固定資産		
のれん	27	60
その他	82	76
無形固定資産合計	109	136
投資その他の資産	※4 5,845	※4 5,417
固定資産合計	11,615	11,240
資産合計	60,556	53,951
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,390	16,217
短期借入金	22,612	23,341
1年内返済予定の長期借入金	102	75
未払法人税等	251	105
引当金	413	597
その他	2,399	2,354
流動負債合計	48,169	42,692
固定負債		
長期借入金	550	528
退職給付引当金	1,311	1,297
負ののれん	46	61
その他	181	83
固定負債合計	2,090	1,971
負債合計	50,259	44,663

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	908	908
利益剰余金	2,919	2,436
自己株式	△52	△51
株主資本合計	10,962	10,480
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△279	△714
繰延ヘッジ損益	△4	△15
為替換算調整勘定	△468	△555
評価・換算差額等合計	△752	△1,286
少数株主持分	86	93
純資産合計	10,296	9,287
負債純資産合計	60,556	53,951



(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	55,635	55,564
売上原価	48,794	48,892
売上総利益	6,840	6,672
販売費及び一般管理費合計	※1 5,788	※1 5,686
営業利益	1,052	985
営業外収益		
受取利息	42	25
受取配当金	36	37
持分法による投資利益	210	5
為替差益	61	—
その他	73	81
営業外収益合計	423	149
営業外費用		
支払利息	274	227
為替差損	—	99
その他	24	101
営業外費用合計	298	428
経常利益	1,177	707
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
貸倒引当金繰入額	64	—
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	39	1
投資有価証券評価損	476	—
特別損失合計	582	1
税金等調整前四半期純利益	596	707
法人税、住民税及び事業税	262	223
法人税等調整額	6	0
法人税等合計	268	223
少数株主利益	79	0
四半期純利益	248	483

## 【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	29,766	30,556
売上原価	26,114	27,045
売上総利益	3,652	3,510
販売費及び一般管理費合計	*1 3,070	*1 2,915
営業利益	581	594
営業外収益		
受取利息	28	13
受取配当金	2	2
持分法による投資利益	217	0
為替差益	14	—
その他	43	35
営業外収益合計	306	51
営業外費用		
支払利息	138	112
為替差損	—	90
その他	16	73
営業外費用合計	154	277
経常利益	733	368
特別利益		
投資有価証券売却益	1	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
貸倒引当金繰入額	64	—
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	38	0
投資有価証券評価損	476	—
特別損失合計	579	0
税金等調整前四半期純利益	154	367
法人税、住民税及び事業税	124	91
法人税等調整額	8	△11
法人税等合計	132	79
少数株主利益又は少数株主損失(△)	42	△2
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△20	291

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	596	707
減価償却費	100	92
のれん償却額	17	17
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13	△12
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8	14
事業撤退特別損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△184
受取利息及び受取配当金	△78	△62
支払利息	274	227
為替差損益 (△は益)	△7	△0
有形固定資産売却損益 (△は益)	1	△0
有形固定資産除却損	39	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	476	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,856	△5,576
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△234	104
その他の資産の増減額 (△は増加)	91	349
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,135	5,987
その他の負債の増減額 (△は減少)	△22	36
その他	△216	58
小計	337	1,758
利息及び配当金の受取額	91	62
利息の支払額	△274	△228
法人税等の支払額	△170	△57
営業活動によるキャッシュ・フロー	△15	1,533
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△40	△40
有形固定資産の売却による収入	6	0
投資有価証券の取得による支出	△215	△10
投資有価証券の売却による収入	8	6
貸付けによる支出	△183	△75
貸付金の回収による収入	63	16
その他	△75	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△436	△99
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△51	△812
長期借入れによる収入	80	600
長期借入金の返済による支出	△42	△550
少数株主への配当金の支払額	△3	△7
その他	△3	△17
財務活動によるキャッシュ・フロー	△21	△787
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36	37
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△510	684
現金及び現金同等物の期首残高	8,888	8,389
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△58	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	*1 8,320	*1 9,073

**【継続企業の前提に関する事項】**

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
1	<p>一般債権の貸倒見積高の算定方法</p> <p>当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。</p>
2	<p>棚卸資産の評価方法</p> <p>当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。</p>
3	<p>固定資産の減価償却費の算定方法</p> <p>定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。</p>
4	<p>法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法</p> <p>法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。</p> <p>繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。</p>

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	
	<p>子会社については見積実効税率により税金費用を算定しております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	
1	保証債務 連結会社以外の会社の借入金に対し、保証しております。(円換算は第2四半期決算日の為替相場によっております。)	1	保証債務 連結会社以外の会社の借入金に対し、保証しております。(円換算は決算日の為替相場によっております。)
	GSI Europe-Import+Export GmbH 95百万円		GSI (Shenzhen)Ltd. 110百万円
	日神工業株式会社 93		日神工業株式会社 103
	GSI (Shenzhen) Ltd. 92		GSI Creos (Beijing) Co.,Ltd. 86
	GSI Creos (Beijing) Co.,Ltd. 79		寧波武田紡績有限公司 56
	寧波武田紡績有限公司 52		GSI Europe-Import+Export GmbH 50
	GSI Shanghai Engineering 26		GSI Shanghai Engineering 14
	Plastic Processing Co.,Ltd. 26		Plastic Processing Co.,Ltd. 14
	計 438百万円		計 421百万円
※2	手形割引高 受取手形割引高 63百万円	※2	手形割引高 受取手形割引高 80百万円
※3	有形固定資産の減価償却累計額は、6,607百万円です。	※3	有形固定資産の減価償却累計額は、6,538百万円です。
※4	資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 1,016百万円	※4	資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額 投資その他の資産 1,022百万円

## (四半期連結損益計算書関係)

## 第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
物流費 906百万円	物流費 856百万円
販売諸掛 1,164	販売諸掛 1,202
従業員給与及び賞与 991	従業員給与及び賞与 1,029
賞与引当金繰入額 238	賞与引当金繰入額 268
退職給付費用 124	退職給付費用 132
その他 2,363	その他 2,197
計 5,788百万円	計 5,686百万円

## 第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。
物流費 470百万円	物流費 463百万円
販売諸掛 689	販売諸掛 643
従業員給与及び賞与 509	従業員給与及び賞与 519
賞与引当金繰入額 115	賞与引当金繰入額 128
退職給付費用 60	退職給付費用 66
その他 1,225	その他 1,094
計 3,070百万円	計 2,915百万円

## (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
現金及び預金 8,320百万円	現金及び預金 9,073百万円
現金及び現金同等物 8,320百万円	現金及び現金同等物 9,073百万円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	64,649,715

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	273,140

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

該当事項はありません。

5 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第2四半期連結会計期間におけるリース取引残高は前連結会計年度末と比較して著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動が認められないため、記載しておりません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の当第2四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。また、ヘッジ会計を適用しておりますので、注記の対象から除いております。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。



(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	繊維関連事業 (百万円)	非繊維関連事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	22,888	6,877	29,766	—	29,766
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	29	29	(29)	—
計	22,888	6,907	29,796	(29)	29,766
営業利益	604	147	751	(170)	581

(注) 1 事業区分は、当連結企業グループの取扱う製品や役務の種類、市場の類似性等を考慮し、繊維関連事業と非繊維関連事業にセグメンテーションしております。

2 各事業区分の主要な製品

(1) 繊維関連事業・・・化合繊糸、化合繊織物、肌着、靴下、婦人服、紳士服

(2) 非繊維関連事業・・・機械、化成品、理化学機器、紙管、ホビー、花火、不動産管理等のサービス

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	繊維関連事業 (百万円)	非繊維関連事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	25,667	4,889	30,556	—	30,556
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	30	30	(30)	—
計	25,667	4,919	30,587	(30)	30,556
営業利益	622	152	774	(179)	594

(注) 1 事業区分は、当連結企業グループの取扱う製品や役務の種類、市場の類似性等を考慮し、繊維関連事業と非繊維関連事業にセグメンテーションしております。

2 各事業区分の主要な製品

(1) 繊維関連事業・・・化合繊糸、化合繊織物、肌着、靴下、婦人服、紳士服

(2) 非繊維関連事業・・・機械、化成品、理化学機器、紙管、ホビー、花火、不動産管理等のサービス

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	繊維関連事業 (百万円)	非繊維関連事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	42,318	13,317	55,635	—	55,635
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	66	66	(66)	—
計	42,318	13,383	55,701	(66)	55,635
営業利益	1,060	399	1,460	(407)	1,052

(注) 1 事業区分は、当連結企業グループの取扱う製品や役務の種類、市場の類似性等を考慮し、繊維関連事業と非繊維関連事業にセグメンテーションしております。

2 各事業区分の主要な製品

(1) 繊維関連事業・・・化合繊糸、化合繊織物、肌着、靴下、婦人服、紳士服

(2) 非繊維関連事業・・・機械、化成品、理化学機器、紙管、ホビー、花火、不動産管理等のサービス

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	繊維関連事業 (百万円)	非繊維関連事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	45,519	10,045	55,564	—	55,564
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	60	60	(60)	—
計	45,519	10,106	55,625	(60)	55,564
営業利益	1,074	287	1,362	(376)	985

(注) 1 事業区分は、当連結企業グループの取扱う製品や役務の種類、市場の類似性等を考慮し、繊維関連事業と非繊維関連事業にセグメンテーションしております。

2 各事業区分の主要な製品

(1) 繊維関連事業・・・化合繊糸、化合繊織物、肌着、靴下、婦人服、紳士服

(2) 非繊維関連事業・・・機械、化成品、理化学機器、紙管、ホビー、花火、不動産管理等のサービス

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	24,336	4,042	1,388	29,766	—	29,766
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,515	217	95	1,828	(1,828)	—
計	25,851	4,259	1,483	31,594	(1,828)	29,766
営業利益	487	39	48	574	6	581

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。  
 アジア ……中国、香港  
 北米 ……アメリカ

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	21,361	8,530	664	30,556	—	30,556
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,584	96	61	2,742	(2,742)	—
計	23,945	8,627	725	33,299	(2,742)	30,556
営業利益	460	166	(15)	611	(16)	594

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。  
 アジア ……中国、香港  
 北米 ……アメリカ

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	47,308	5,691	2,635	55,635	—	55,635
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,667	321	189	3,177	(3,177)	—
計	49,975	6,012	2,825	58,813	(3,177)	55,635
営業利益	899	38	109	1,046	6	1,052

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。  
 アジア ……中国、香港  
 北米 ……アメリカ

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	41,772	12,247	1,544	55,564	—	55,564
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,980	113	133	5,226	(5,226)	—
計	46,753	12,360	1,678	60,791	(5,226)	55,564
営業利益	809	199	3	1,012	(26)	985

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。  
 アジア ……中国、香港  
 北米 ……アメリカ

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高(百万円)	5,674	1,301	629	7,604
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	29,766
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	19.1	4.4	2.1	25.6

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。  
 アジア ……中国、香港  
 北米 ……アメリカ  
 その他 ……欧州  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高(百万円)	9,846	566	420	10,833
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	30,556
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	32.2	1.9	1.4	35.5

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。  
 アジア ……中国、香港  
 北米 ……アメリカ  
 その他 ……欧州  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高(百万円)	9,116	2,342	1,146	12,605
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	55,635
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	16.4	4.2	2.1	22.7

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。  
 アジア ……中国、香港  
 北米 ……アメリカ  
 その他 ……欧州  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高(百万円)	14,834	1,399	773	17,007
II 連結売上高(百万円)	—	—	—	55,564
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	26.7	2.5	1.4	30.6

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 各区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。  
 アジア ……中国、香港  
 北米 ……アメリカ  
 その他 ……欧州  
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
158.60円	142.79円

2 1株当たり四半期純利益又は四半期純損失及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

第2四半期連結累計期間

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益 3.86円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益 7.50円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(百万円)	248	483
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	248	483
普通株式の期中平均株式数(千株)	64,417	64,381

第2四半期連結会計期間

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純損失 0.32円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在せず、かつ1株当たり四半期純損失のため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益 4.52円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益又は四半期純損失及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益又は四半期純損失(△)(百万円)	△20	291
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失(△)(百万円)	△20	291
普通株式の期中平均株式数(千株)	64,413	64,379

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月13日

株式会社G S I クレオス  
取締役会御中

監査法人 保森会計事務所

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 矢 部 豊 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 間 淵 邦 夫 印

代表社員  
業務執行社員 公認会計士 大 東 幸 司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社G S I クレオスの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社G S I クレオス及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月12日

株式会社G S I クレオス  
取締役会 御中

監査法人 保森会計事務所

代表社員 公認会計士 大 東 幸 司 印  
業務執行社員

代表社員 公認会計士 津 倉 眞 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社G S I クレオスの平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成21年7月1日から平成21年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社G S I クレオス及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

## 【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年11月13日
【会社名】	株式会社G S I クレオス
【英訳名】	GSI Creos Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 深 瀬 佳 洋
【最高財務責任者の役職氏名】	該当なし
【本店の所在の場所】	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
【縦覧に供する場所】	株式会社G S I クレオス大阪支店  (大阪市中央区大手前一丁目7番31号 (OMMビル))  株式会社東京証券取引所  (東京都中央区日本橋兜町2番1号)  株式会社大阪証券取引所  (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長深瀬佳洋は、当社の第80期第2四半期(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

## 2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。